

小・中学校の適正規模・適正配置の取組について

1 意見交換会について

市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組について、今後、学校の統廃合を含めた方策を検討することとした学校・地域において、保護者や地域の方々と今後の方策の方向性（案）等について意見交換を実施しました。

【意見交換開催時の方策の方向性（案）】

地域	地区	学校名	方策の方向性（案）	
			方策	根拠
荻野	荻野	荻野小学校	学校の統廃合 （1校又は2校）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和22年と令和14年の推計値を比較すると、地域全体の児童数はほぼ変わらない見込み ・荻野小学校、上荻野小学校は令和14年及び令和22年時点で、適正規模である12学級以上に必要な最小の児童数とのかい離が大きく、通学区域制度の弾力的運用では学校規模適正化は困難 ・地域内の学校が全て優先的対象校であり、通学区域の再編成による学校規模適正化は困難
		鳶尾小学校		
		上荻野小学校		
小鮎	小鮎	小鮎小学校	学校の統廃合 （小鮎小学校へ統合）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和22年と令和14年の推計値を比較すると、地域全体の児童数は減少の見込み ・飯山小学校は令和14年及び令和22年時点で、適正規模である12学級以上に必要な最小の児童数とのかい離が大きく、通学区域制度の弾力的運用では学校規模適正化は困難 ・飯山小学校と小鮎小学校で通学区域再編成を実施し、児童数を地域内で平準化しても、令和22年には、両校とも優先的対象校になる見込み ・小鮎小学校では統合後も必要教室数が確保できる見込み（飯山小では不足）
		飯山小学校		

※下線は令和14年度時点で6学級以下の見込みとなる小学校

2 実施結果概要

日程	学校	時間	会場	参加者数
10月9日(月・祝)	上荻野小	《全会場共通》 [1回目]	上荻野小 体育館	25人
10月14日(土)	荻野小		荻野小 体育館	27人
10月15日(日)	鳶尾小	10時～11時30分	鳶尾小 体育館	20人
11月3日(金・祝)	飯山小	[2回目]	飯山小 体育館	49人
11月4日(土)	小鮎小	14時～15時30分	小鮎小 体育館	22人
			合計	143人

3 意見等概要

No	意見種別	上荻野	荻野	鳶尾	飯山	小鮎	合計
1	取組の考え方・進め方・スケジュール	8	14	10	7	11	50
2	教育環境	6	13	10	8	4	41
3	通学関係	5	2	3	12	3	25
4	地域づくり・コミュニティ	1	0	3	6	1	11
5	その他	8	4	4	7	13	36
合計		28件	33件	30件	40件	32件	163件

※意見（抜粋）については資料3-1参照

No	地域 学校	内容				
		取組の考え方・進め方・スケジュール	教育環境	通学関係	地域づくり・コミュニティ	その他(市の施策、取組の根拠等)
1	荻野地域 上荻野小学校	<ul style="list-style-type: none"> 統廃合は別として、小学校6年間クラス替えがない環境はどうかと思う。いじめがあった場合、加害者が悪いのは大前提だが、現状は被害者側が不登校になることが多い。逃げ場を作ること、人間関係を変えることが出来るという点でクラス替えが出来る環境を整備してほしい。 子どもたちに意見を聞くに当たり、前向きな形で聞いてもらい、より良い案を作ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 上荻野地区の自然豊かなところを魅力だと思い移住してきた。上荻野小学校の立地も素晴らしく、この学校に通わせたい。 小学校 54 時間や中学校 70 時間という時間外勤務は、普通の会社では考えられない。学校の規模適正化により、教職員の時間外は減るのか。学校の規模と教職員の負担は、どのようにリンクしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスのルートについては国道 412 号沿いと書いてあるが、みはる野とかまつかけ台の内部を走行するルートも考えてもらいたい。 可能なら登下校は歩くことで体力をつけることができると考えている。2校に統合する方向で検討してほしいが、スクールバスを運行するのであれば、時間を分割してでも上手に回してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 統廃合を実施した場合、廃校になる校舎が出るかと思うが、廃校の取扱いについて考えはあるのか。廃校となった小学校がそのまま放置されると治安の面でも不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の他地区では児童数が増えている箇所もあると聞かすが、宅地を増やすなど、荻野地区の児童を増やす策は検討しないのか。万策尽きたということか。
2	荻野地域 荻野小学校	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの交友関係など、高学年になるほど固定され難くなるため、2校に分散されると親として不安である。通学区域の変更など柔軟に対応してもらいたい。個人的には荻野小1校にまとめられればそれがよい。 想定される児童数(2032年)であれば、小中が近接した「荻野小学校1校」への統合が望ましいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫は大変良い。立地的に荻野小学校は中学校と近接しているため、なくすべきではない。改修し、モデル校としてほしい。 「荻野から始まる新しい厚木の教育」はすごく良いと思うが、1校に統合した場合と、2校に統合した場合とでどのような教育が実現可能なのか。 小中一貫の観点であれば、荻野中と荻野小が同じ敷地内に建つのがベスト。教員同士の交流もより密になり、児童・生徒の情報共有もできるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学時間は距離で検討しているとのことだが、通学路が気になる。国道は歩道が狭く、車が結構なスピードで走っている。上荻野から長い時間をかけて通学する児童の通学路はどこを想定しているのか。 統合された場合、スクールバスの乗り遅れや、天候次第では保護者の送迎が増えると思う。現状でも朝の時間帯は送迎による路上駐車がとても多い。送迎者用ステーションを設置してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> 現在、学童保育を利用している。荻野小は利用者が少なく、6年生まで預かってもらえると聞いているが、鳶尾小と上荻野小は学童に入る人数が多く、低学年を優先して入所させている状況と聞く。統合した場合、学童保育の形はどうなるのか。 少子化の原因は子育てがしにくいことによるものが一番多いという話を聞く。遠距離通学は、少子化対策とは逆行した方策であると感じる。その辺りには市で議論しているのか。
3	荻野地域 鳶尾小学校	<ul style="list-style-type: none"> 鳶尾小と上荻野小の2校に統合した場合、資料では7年後に上荻野小が小規模になってしまうとあるが、その場合、再度1校に統合されるのか。 1校統合、2校統合でも具体的な教育方針やメリットを最大限伝えていかないと、荻野地域の学校に通うメリットがあまり見出せないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育は、一つの大きい敷地がないとできないと思うが、新しい施設を整備しないのであれば、小中一貫教育はできないのではないか。 小学校で勤務した際、小規模校では教職員が少なく、校務負担も重く、教材研究する時間が取れなかった。また、学級数が少ないと、新人の教員も一人でその学年を担当しなければならない状況。教員の授業力や対応力の向上には、ある程度の学校規模が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの具体的な運用方法が決まっていれば教えてほしい。また、現在、鳶尾で運行されているコミュニティバスを活用する考えはあるか。 荻野小に統合になった場合、現在より通学時間が長くなり、スクールバスを利用する児童がバスに間に合わない場合など、保護者が自家用車で送り迎えをする機会が増えると考えられる。前面の道路や敷地の広さを考えると、駐車スペースや安全性に不安を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年、荻野地区に引越してきたが、家の近くに小学校があり、通学路が整備されていることが、この場所を選んだ大きな理由である。小学校が無くなると、転入者も減り、過疎化が進んでしまう。鳶尾は高齢化が進んでいるので、更に寂しくなる。 学校の統廃合を進めていくに当たり、地域の魅力が半減しないよう、地域の活性化や荻野地区への定住対策に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の統廃合について、先進的な取組を行っている事例があれば教えてほしい。特に、統廃合するために、どの程度の時間を掛けて検討しているのか知りたい。 放課後児童クラブについて、学校が統合されるのであれば、同じように人手を増やさなければならないと思うが、どのような検討をしているのか。

No	地域 学校	意見等内容				
		取組の考え方・進め方・スケジュール	教育環境	通学関係	地域づくり・コミュニティ	その他(市の施策、取組の根拠等)
4	小鮎地域 飯山小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・統合は反対。玉川小のように小規模特認校として飯山小を何とか存続してほしい。 ・飯山小の施設がまだ活用できるため、小鮎小と飯山小の児童数を平準化する考えはないか。 ・小鮎小への統合に賛成。子どもの社会性を養うには、ある程度子どもの人数が必要。また、活力のある学校をつくるためにも、子どもの人数が多い方が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合により、先生の校務負担が軽くなると書かれているが、具体的にどのような校務が軽減されるのか。 ・小鮎からはじまる新しい厚木の教育の中で、子どもたちの地域への愛着を育むとあるが、子どもたちにとって身近な地域だけでなく、小鮎全体を地域として捉えられる教育をするのは非常に難しく大きなテーマである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小鮎地区はアップダウンが多く、事故も多い地域である。夏場は非常に暑く、低学年が歩くには水筒一本では足りずとても不安。日没時間が早い冬も、スクールバスは柔軟に運行してほしい。 ・スクールバスの運行が難しい場合もあるため、車で送迎がしやすいよう駐車場を確保する等考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方向性として、施設を統廃合し、複合化していくというものは理解できるが、飯山小学校の跡地利用については統廃合と並行で進めてほしい。 ・学校跡地の他自治体の活用事例を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・純朴で心豊かな飯山っ子が他校に行ってうまく溶け込めるのか、非常に心配している。 ・行政・民間と一緒に若い世帯を厚木に呼び込む施策ができないか。空き家の借上げ・住宅開発・土地購入の減税(子どものいる世帯)等、施策を実施し、若い世帯が増えれば、減少ではなく現状維持ができるのではないか。
5	小鮎地域 小鮎小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>今後設置される地域検討組織について、公募市民の方をぜひ入れてほしい。反対意見も含め、公正な意見がある方に入ってください、議論を深めることが大切。また、地域の人が悲しい思いをしないように、配慮しながら進めてほしい。</u> ・自治会の方で、地域コミュニティや防災面について、もっと議論してほしい。高齢者は関係ない、ではなく、将来の地域のために、真剣に議論してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これから市内で統廃合が進み、施設の整備が行われる際には、エレベーターを整備してほしい。学校の数が減るのであれば、設備面に力を入れてほしい。 ・飯山小が小鮎小の敷地に統合されることは理解したが、小中一貫教育による9年間を見据えた系統的な教育について、細かく教えてほしい。 ・小中一貫教育の手法がいろいろあると思うが、校舎自体を統一するのか、校長も小中で一人にするのか、何か具体的なことが決まっていたら教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩で通学する子どもたちに関しても、GPS利用などの安全対策を市で行ってほしい。また、スクールバスを出す際には、乗り遅れなどの事態にも対応できるよう検討してほしい。 ・児童の通学路の安全性が特に重要。スクールバスの運行についても不安がたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮の里の近くに学校が無くなってしまふことは、居住誘導区域として魅力ある地域になり得るのか。地域の魅力づくりにつなげると述べているが、学校をなくすことが、地域の活性化につながるのか疑問である。 ・新しい校舎の複合化という言葉があったが、例えば公民館の事業で利用できるような施設を整備することなどを考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方策の実施後の小・中学校の給食は、小学校の給食室を活用し、自校給食を進めてほしい。